

テーマ

日本発・高品質な糀調味料の世界進出事業 ～小袋商品の新規開発～

事業者の概要

代表者名 代表取締役 山本晴一
設立年月日 1911年(明治44年)
所在地 〒920-0331 石川県金沢市大野町4丁目イ170番地
TEL 076-268-1248 **FAX** 076-268-1242
URL <http://www.yamato-soysauce-miso.co.jp>
E-mail kohei@yamato-soysauce-miso.co.jp 山本耕平(営業部課長)
資本金額 10,000千円
従業員数 39人 **業種** 食料品製造業

得意分野

醤油・味噌・甘酒・たれ・つゆなどの糀調味料づくり

事業の概要

事業区分 ものづくり技術
事業類型 試作開発 + 設備投資

事業の内容

● 事業取組みの経緯

当社は2013年以降、ヨーロッパに醤油を輸出している実績を持つ。当地の得意先からは、小容量サイズの【小袋しょうゆ】【小袋ドレッシング】などについて商品化を要望されてきた。しかしながら、当社にはこうした要望に応えられる充填設備がなく、開発に歯止めがかかっていた。

● 実施内容

創業地である金沢・大野町は400年前より醸造業が栄えた町で、当社は現在も創業地大野町で北陸の自然の恵みを活かした醤油・味噌・甘酒・たれ・つゆなどの糀調味料づくりに取り組んでいる。本社工場を含む敷地全体を「糀パーク」と銘打ち、糀の良さ、「一汁一菜に一糀」のライフスタイルを伝える発信拠点としているのが当社の最大の特徴である。「糀」を用いた発酵調味料は、和食の広がりとともに海外での需要が増している。本事業は、ヨーロッパ市場を主対象にし、化学調味料や保存料

無添加の糀ドレッシング、醤油、味噌などの糀調味料を全世界に展開する事業。製造面の課題解決のために新たな設備投資を行い、使い切り易く単位あたりの輸送コストが低い「小袋」入り商品で販路開拓を目指す。「小袋」入り糀調味料は、顧客の要望はあったが設備や資材の不備で製造できずにきていた。今回、新たな設備投資として、小袋充填装置を購入し、課題を解決するための生産体制が整った。本事業では、海外市場で需要がある「小袋」入り糀調味料の試作開発と、生産体制を整える設備投資を行った。生産体制に関しては、小袋充填装置を購入し、今後5年かけて、1年1品ずつ開発・製品化をすることが次の目標である。

事業の成果

湯を注ぐだけで使える簡便な出汁入り味噌を小袋に充填した。海外ユーザーからの評価は高い。包材を工夫し、耐久性が増している。当該商品は欧州向け市場の開拓に向け大きな戦力となるものと予想される。



ヤマト・糀パーク絵図



商品写真（糀を用いた発酵調味料のシリーズ）